

リハビリ機能充実型 児童デイサービス

小学生対象放課後等デイサービス平成28年1月新規オープン



見まね（模倣）のメカニズム

①目で見た情報を処理する（後頭葉）



②視覚情報を運動情報に変換する（頭頂葉）



③運動プログラムを作って出力する（前頭葉）

ひとことに見まねといっても、脳の多くの部分が連携して成立しています。お母さんやお友達のまねは子どもの学習が成立するための重要な要素です。発達が心配されるお子さまの中には、見まねや声まねの苦手さが発達を邪魔している場合もみられます。子どもができない時に「こうするのよ」や「なんでできないの」という言葉を与えても学習は期待できません。

リハビリテーションでは、どこに問題があるのかを明確にしたうえで、それぞれの子どもの弱点となっている脳機能が活性化するように課題を考案して介入します。

6歳までの児童発達支援ばんびーにこくらみなみ、小学生以降の放課後デイあぷれんどこくらみなみでは、国家資格を有したリハビリテーションセラピストを常勤配置し、子どもたちが良質なリハビリテーションを日常的に受けることができる環境を整備し、子どもたちの健やかな発達を最優先に位置づけた福祉サービスを提供しています。

専門的なリハビリテーションが日常的に受けられるデイ

児童発達支援事業所（未就学児対象）

ばんびーにこくらみなみ （093-982-3010）

放課後等デイサービス（就学児対象）

あぷれんどこくらみなみ （093-982-3012）

〒800-0206 北九州市小倉南区葛原東1丁目3-34-1

* 随時見学を受け付けています。見学を希望される方はご連絡ください。

運営主体：NPO法人子どもの発達・学習を支援するリハビリテーション研究所

